

2022年12月 治験審査委員会議事概要

日時 : 2022年12月8日 (木) 17:30 ~ 18:30

場所 : 日本赤十字社医療センター 講堂2・3

出席者: (委員長) 今門 純久

(委員) 石田 禎夫・佐々木 慎・小松 淳子・石田 耕太・滋田 泰子・角 公彦 (非専門)・佐藤 麻衣子 (非専門)・吉原 里佳 (非専門)・佐々木 惣一 (院外、非専門)・原 英喜 (院外、非専門)・岡崎 廉治 (院外、非専門)

欠席者: 高屋 和彦

※ 外部委員のWeb参加について

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大防止の観点から、2022年12月治験審査委員会において、外部委員はWeb会議にて同時参加。概要は下記の通り。

各外部委員のWeb会議参加場所:

原委員… 國學院大學研究室

佐々木委員… 弁護士事務所

岡崎委員… 自宅

外部委員への審議資料の配布方法:

通常配布資料… 11月25日 郵送にて配布

追加議題資料… 12月 2日 郵送にて配布

Web会議用システム:

Zoom (<https://zoom.us/>)

1. 新規審査依頼

(1) 他の LUSPATERCEPT (ACE-536) 臨床試験への参加歴を有する被験者を対象とした長期安全性を評価する第3B 相非盲検単群継続試験

【審議】

これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき実施の妥当性について審議

【審査結果】

治験実施を「修正の上承認」

※同意説明文書及び参加同意書の修正

2. 継続審査、治験実施計画書の変更、及び新たな安全性情報の入手等による治験継続の可否の審査依頼及び逸脱に対する承認。

(1) 早発型重症妊娠高血圧腎症患者を対象としたKW-3357の第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(2) サノフィ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者を対象としたitepekimabの第Ⅲ

相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(3) 好酸球性重症喘息患者を対象とした GSK3511294 をメボリズマブ又はベンラリズマブと比較評価する非劣性試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(4) 住友ファーマ株式会社の依頼による双極Ⅰ型障害の抑うつエピソードの患者を対象とした SEP-4199 CR の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(5) 住友ファーマ株式会社の依頼による双極Ⅰ型障害の抑うつエピソードの患者を対象とした SEP-4199 CR の第Ⅲ相継続長期試験

【審議】

安全性情報については2-(4)と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(6) イキサゾミブのロールオーバー試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(7) 武田薬品工業株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomib Citrate (MLN9708) の第3相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(8) 武田薬品工業株式会社の依頼による幹細胞移植歴のない初発の多発性骨髄腫患者を対象とした

Ixazomibの第3相試験

【審議】

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(9) 造血幹細胞移植による初回治療が予定されていない未治療の多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブ, ボルテゾミブ, レナリドミド, 及びデキサメタゾン併用 (D-VRd) とボルテゾミブ, レナリドミド, 及びデキサメタゾン併用 (VRd) を比較する第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(10) ハイリスクのくすぶり型多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と積極的経過観察を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(11) 未治療の全身性ALアミロイドーシスにおけるダラツムマブとシクロホスファミド, ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (CyBorD) レジメンの併用及びCyBorDレジメン単独の有効性及び安全性を評価するランダム化第3相試験

【審議】

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(12) アッヴィ合同会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたベネトクラスの第Ⅲ相試験②

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(13) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(14) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の製造販売後臨床試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

当センターで発生した重篤な有害事象について治験を行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(15) サノフィ株式会社の依頼による第Ⅰ相試験

【審議】

安全性情報については2-(13) と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(16) サノフィ株式会社の依頼による高リスク群多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の第Ⅲ相試験

【審議】

安全性情報については2-(13), (15) と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(17) 小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4059の第Ⅱ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(18) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による BB2121の第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(19) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるBB2121の第2相試験

【審議】

安全性情報については2-(18) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(20) 製品規格に適合しないIDECABTAGENE VICLEUCELを被験者に投与する拡大アクセス試験 (EAP)

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(21) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による骨髄異形成症候群日本人患者に対する ACE-536 の第Ⅱ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(22) 再発及びレナリドミド難治性多発性骨髄腫患者を対象とした BCMA 標的キメラ抗原受容体発現 T 細胞 (CAR-T) 治療薬 JNJ-68284528 とポマリドミド, ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (PVd) 又はダラツムマブ, ポマリドミド及びデキサメタゾン (DPd) を比較する第3相ランダム化試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(23) 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象とした BCMA 標的キメラ抗原受容体発現 T 細胞 (CAR-T) 治療薬 JNJ-68284528 の非盲検第1b 相／第2相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(24) 造血幹細胞移植の適応とならない初発の多発性骨髄腫患者を対象として, ボルテゾミブ, レナリドミド及びデキサメタゾン (VRd) 投与後に BCMA 標的キメラ抗原受容体発現 T 細胞 (CAR-T) 治療製品 Ciltacabtagene Autoleucl を投与する群と, ボルテゾミブ, レナリドミド及びデキサメタゾン (VRd) 投与後にレナリドミド及びデキサメタゾン (Rd) を投与する群を比較する第3相ランダム化試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(25) Long-term Follow-up Study for Participants Previously Treated with Ciltacabtagene Autoleucl
ciltacabtagene autoleucl の投与を受けた患者を対象とした長期追跡調査試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

当センターで発生した重篤な有害事象について治験を行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(26) (治験国内管理人) IQVIA サービス ジャパン株式会社の依頼による再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象として belantamab mafodotin 単剤療法をポマリドミド及び低用量デキサメタゾン併用療法と比較検討する第 III 相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(27) GSK2857916の再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象とした第 I 相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(28) 大塚製薬の依頼による MMG49 抗原陽性の再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象とした OPC-415 の第 I / II 相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(29) アレクシオンファーマ合同会社の依頼による Mayo ステージ IIIb の未治療の AL アミロイドーシス患者を対象とした CAEL-101 の第 III 相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(30) アレクシオンファーマ合同会社の依頼による Mayo ステージ IIIa の未治療の AL アミロイドーシス患者を対象とした CAEL-101 の第 III 相試験

【審議】

安全性情報については2-(29) と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(31) ファイザー株式会社の依頼による Elranatamab (PF-06863135) の第2相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(32) ファイザー株式会社の依頼による、第1相試験

【審議】

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(33) ファイザー株式会社の依頼によるElranatamab (PF-06863135) の第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(34) ファイザー株式会社の依頼による、第1/2相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

当センターで発生した重篤な有害事象について治験を行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(35) ファイザー株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたElranatamab (PF-06863135) の第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(36) A Phase 1/2 Study of JNJ-64007957, a Humanized BCMA x CD3 Bispecific Antibody in Japanese Patients with Relapsed or Refractory Multiple Myeloma
再発又は難治性多発性骨髄腫を有する日本人患者を対象としたヒト化 BCMA×CD3 二重特異性抗体 JNJ-64007957の第1/2相試験**

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(37) A Phase 1 Study of JNJ-64407564, a Humanized GPRC5D x CD3 Bispecific Antibody in Japanese Subjects with Relapsed or Refractory Multiple Myeloma
再発又は難治性多発性骨髄腫を有する日本人患者を対象としたヒト化 GPRC5D×CD3 二重特異性抗体 JNJ-64407564の第1相試験**

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(38) 再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象として teclistamab とダラツムマブ皮下投与製剤の併用 (Tec-Dara) とダラツムマブ皮下投与製剤, ポマリドミド及びデキサメタゾン (DPd) 又はダラツムマブ皮下投与製剤, ポルテゾミブ及びデキサメタゾン (DVd) を比較する第3相ランダム化試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(39) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるRRMM患者を対象としたCC-220の第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(40) PRAヘルスサイエンス株式会社の依頼によるMayoステージIVのALアミロイドーシス患者を対象としたbirtamimabの第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

3. 製造販売後調査審査依頼

○ なし

4. 製造販売後調査実施計画変更による調査継続の可否

(1) イストダックス点滴静注用10mg (No.536) 使用成績調査：期間延長

○ロミデプシン

対象疾患：再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫

※ 2022年10月31日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(2) アイクルシグ錠15mg (No.502) 使用成績調査：分担医師変更

○ポナチニブ塩酸塩

対象疾患 : 白血病

※ 2022年11月2日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(3) ラパリムス錠1mg (No.439) 使用成績調査：責任医師変更

○シロリムス

対象疾患 : リンパ脈管筋腫症

※ 2022年11月11日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(4) レパーサ皮下注 (No.475) 特定使用成績調査：期間延長

○エボロクマブ(遺伝子組換え)

対象疾患 : 家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症

※ 2022年11月16日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(5) コパキソン皮下注20mgシリンジ (No.472) 特定使用成績調査：分担医師変更

○グラチラマー酢酸塩

対象疾患 : 多発性硬化症

※ 2022年11月18日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

5. 直接閲覧を伴うモニタリング・監査結果の報告

(実施報告)

(1) ABT-199 (ベネトクラクス) (No.240)

治験依頼者 : アッヴィ合同会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(2) SAR650984 (No.248)

治験依頼者 : サノフィ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(3) JNJ-54767414-SC (No.255)

治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・石田 禎夫

(4) BGB-A317 (No.257)

治験依頼者 : パレクセル・インターナショナル株式会社

治験責任医師 : 消化器内科・吉田 英雄

(5) ONO-4538 (No.259)

治験依頼者 : 小野薬品工業株式会社

治験責任医師 : 呼吸器内科・出雲 雄大

(6) ONO-4059 (No.260)

治験依頼者 : 小野薬品工業株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(7) ACE-536 (No.265)

治験依頼者 : ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(8) bb2121 (No.267)

治験依頼者 : ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(9) JNJ-68284528 (No269)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・鈴木 憲史

(10) KW-3357 (No270)

治験依頼者：協和キリン株式会社

治験責任医師：産婦人科・木戸 道子

(11) JNJ-68284528 (No271)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(12) ROZANOLIXIZUMAB (No272)

治験依頼者：ユーシービージャパン株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(13) CAEL-101 (No277)

治験依頼者：アレクシオンファーマ合同会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(14) CAEL-101 (No278)

治験依頼者：アレクシオンファーマ合同会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(15) GSK2857916 (No280)

治験依頼者：グラクソ・スミスクライン株式会社

治験責任医師：血液内科・鈴木 憲史

(16) JNJ-64007957 (No284)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(17) JNJ-64407564 (No286)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(18) SAR650984 (No287)

治験依頼者：サノフィ株式会社

治験責任医師：血液内科・塚田 信弘

(19) ADR-001 (No289)

治験依頼者：ロート製薬株式会社

治験責任医師：呼吸器内科・出雲 雄大

(20) Elranatamab (PF-06863135) (No290)

治験依頼者：ファイザー株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(21) JNJ-68284528 (No292)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(22) Elranatamab (PF-06863135) (No294)

治験依頼者：ファイザー株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(23) MLN9708 (イキサゾミブ) (No296)

治験依頼者：武田薬品工業株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(24) GSK3511294 (No.297)

治験依頼者：IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

治験責任医師：呼吸器内科・出雲 雄大

(25) PF-06863135 (No.303)

治験依頼者：ファイザー株式会社

治験責任医師：血液内科・石田 禎夫

(指摘事項)

○ なし

6. 治験終了・治験中止

(1) ABT-199 (ベネトクラクス) (No.240)

(2) JNJ-68284528 (No.269)

7. 製造販売後調査終了報告

(1) アイクルシグ錠15mg (No.502) 使用成績調査

○ポナチニブ塩酸塩

対象疾患：白血病

(2) ポイラビー点滴静注30mg、140mg (No.570) 使用成績調査

○ポラツズマブ ベドチン(遺伝子組換え)

対象疾患：再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫

(3) アラベル内用剤1.5g (No.412) 使用成績調査

○アミノレブリン酸塩酸塩

対象疾患：悪性神経膠腫

(4) ニューロフォーム ステント (No.キ-12) 使用成績調査

対象疾患：破裂脳動脈瘤

8. その他

統一書式の変更

当センターでは2023年のIRB(次回2月)の審議対象の資料から対応する。移行期間を設け、今年度中に新書式への完全切り替えの予定。